

シャーカステン型歪測定器

model: SVP-701



大型の試料も楽々観察できます

ガラス、プラスチックなどの素材は製造工程において生じる歪(応力)が製品の品質に大きく影響を及ぼします。

特に強い引っ張り応力が存在する場合などは製品の破損につながり、安全対策上厳重な品質管理を必要とします。

一方、強化ガラスの場合は製品全体に均一に圧縮応力が分布していなければ安定した強度を発揮することができません。

SVPシリーズは肉眼では見ることのできないこれらの歪の状態を容易に観察できる装置で、製品を直に見ながら色と模様で歪の分布を観察し、歪の強さを測定することができます。

- 試料を直視しながら色と模様で歪を観察、測定が可能
- 縦型光源で作業領域が広い
- セナルモン法により歪の定量が可能
- 銳敏色法により写真等での画像記録に最適
- キャスター付で移動が簡単

観察/測定方法

- ①直交ニコル法
- ②銳敏色板法
- ③セナルモン法

オプション

- ①並列膜型歪標準器
- ②並列膜型歪標準器 逆仕様

仕 様

測定範囲	: 0~280 nm
分解能	: 3 nm
精度	: ± 5 nm
視野	: 700 mm * 630 mm
電源	: AC 100~240V 単相 5A (@ AC 100V)
重量	: 80 kg

有限会社 折原製作所

〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-47-15

TEL 03-3985-9531 FAX 03-3985-9532

<https://www.orihara-ss.co.jp> e-mail orihara@orihara-ss.co.jp